

諫早農業高等学校における食育の取り組み — 元気に育て！諫早っ子 —

諫早農業高校は、創立105年を迎える県内最大の農業高校であり、農業科学科・動物科学科・環境創造科・農業土木科・バイオ園芸科・食品科学科・生活科学科の7学科に約800名が学んでいます。今回は、生活科学科の食育の取り組みについて紹介します。

○土に親しむ、保育園児との栽培・収穫活動

近隣の諫早中央保育所・小栗保育園の園児を学校の農場に招き、高校生と一緒にいちご狩りやさつまいも・じゃがいもの栽培・収穫を行っています。

日頃口にする食べものがどこでどう作られているかを知り、自然の恵みに感謝して採れたての野菜や作物のおいしさを味わう貴重な機会となりました。子どもたちの最高の笑顔に癒される一日です。



いちご狩り(4月)



じゃがいもほり(6月)



いもほり(11月)

○諫早の郷土料理「ぬっぺ」と「びょうたれ」を子どもたちに！

野菜の栄養たっぷりの「ぬっぺ」と、さつまいもを使った素朴なおやつ「びょうたれ」。残念ながら年齢層が下がるほど、これらの料理を「知らない」「食べたことがない」という人が増加します。そこで、これらの料理を大人や高校生に紹介するとともに、次の世代に伝えるべく、子ども向けの「ぬっぺ」「びょうたれ」を開発しました。

「お子様ぬっぺ」は、鶏肉のかわりに鶏ひき肉で作った肉団子を入れ、野菜は小さめのさいの目切りにして食べやすくしました。さらに離乳後期の乳児向けの「赤ちゃんぬっぺ」は、たんぱく質源として麩を用い、レンジで簡単にできるよう工夫した離乳食です。「びょうたれ」は、手でつまんで食べられるよう大福状にしました。

レシピ本で多くの方に広めたり、子育て支援センターで料理教室を開いてお母様方に紹介したりしてたいへん喜ばれています。



お子さまぬっぺ



赤ちゃんぬっぺ



びょうたれ

○地域に根ざした食育活動の展開

この他にも、諫農マーケットや農業文化祭等での試食会や食育コーナーの設置、幼稚園・保育所に出向いての食育教室など、さまざまな場所で食育活動を展開しています。また、長崎県産アスパラガスを使った料理・お菓子の開発、諫早のお菓子「おこし」をヒントにしたアレンジお菓子の開発にも取り組んでいます。

地域の皆様のご支援に感謝しつつ、自然の恵み豊かな諫早の地に学ぶ高校生ならではの活動ができるよう、日々努力しています。



諫農マーケットで



子育て支援センターで